



# F I B E R

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

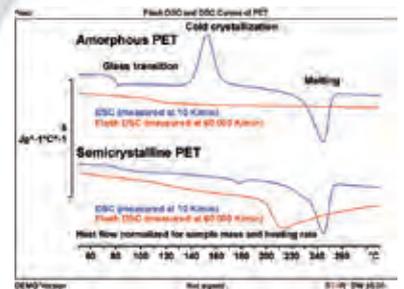
## 繊維学会誌

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

特集〈ナノファイバーの新展開〉

||| 報 文 ||| Original Articles





## メトラー・トレドだけが提供する最新超高速DSC技術

この度、メトラー・トレドから新しい熱分析製品、「FlashDSC1超高速DSC測定装置」が発売されました。

FlashDSC1は制御昇温速度が30°C~2,400,000°C/分、制御冷却速度が-6°C~-240,000°C/分を実現した、

メトラー・トレドだけが提供できる、全く新しい熱分析技術として大きく期待されている製品です。

この技術により従来知ることが出来なかった昇温中に起こるポリマーの再組織化検討、溶融成形や高速プロセス中の熱挙動の把握、プロセスの可視化および最適化検討の大幅なスピードアップ、またはナノスケールサンプルのDSC測定へも期待が持たれます。

▶ [www.mt.com/TA-FlashDSC](http://www.mt.com/TA-FlashDSC)

METTLER TOLEDO

新しいテキスタイル技術を  
ナノレベルからのファイバー操作技術から

そして、

アンビエントな技術による心安らかな生活空間を

## ナノテク高機能テキスタイル 基盤技術研究会

ファイバーの自律応答機能を究め、新たなファイバーインダストリーへの  
技術インテグレーションとビジネス・クリエーションを目指す

信州大学繊維学部内  
ファイバーイノベーションインキュベーター (Fii) 3F  
平井研究室内

連絡先 〒386-8567 上田市常田 3-15-1  
Fii 3F, Tel: 0268-21-5405, Fax: 0268-21-5399  
E-mail: tohirai@shinshu-u.ac.jp, cc: michishi@shinshu-u.ac.jp



## つぎは、どんな未来に化けようか。

ミラバケツソを知っていますか？ それは、ミラいにバケる新ソ材。

世のため人のためになる新しい価値をもった製品のこと。

私たちは、これまでもたくさんのミラバケツソを創ってきました。

その始まりは、国産技術による初の合成繊維「ビニロン」とその原料樹脂「ポパール」。

そして、現在進行形のミラバケツソも。耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉、

アクリル系熱可塑性エラストマー〈クラリティ〉など。どちらもクラレだけの

オンリーワン製品です。ミラバケツソの1つ1つが、どんな未来に化けていくのか。

創っている私たちでさえ・・・うん、楽しみです。

株式会社 クラレ

〒100-8115 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル TEL.03-6701-1000(代表) [www.kuraray.co.jp/](http://www.kuraray.co.jp/)

未来に化ける新素材

**kuraray**

# AOKIのスーツには、哲学があります。

AOKIが徹底してこだわるものづくりへの考え方です。



## 海外のトレンド調査 による商品企画

ミラノ・ロンドン・パリ・ニューヨーク等の最新ファッション情報入手し商品企画に活かしております。



## 信州大学との 産学協同開発

お客様のニーズを研究開発するために業界で唯一、信州大学との産学協同開発を積極的に行っております。



## 前肩縫製等の 高度な縫製技術

日本人の肩に合わせた前肩縫製など、高度な縫製技術を駆使してものづくりを行っております。



## 厳しい品質管理を 徹底しております

取れにくいボタン付けの徹底や厳しい検査基準に合格した商品だけをお届けしております。

## AOKIグループのご紹介

ファッション事業

**AOKI'**

AOKI  
www.aoki-style.com  
460店舗

ORIHICA  
→E

ORIHICA  
www.orihica.com  
103店舗

アニヴェルセル・プライダル事業

ANNIVERSAIRE

アニヴェルセル  
www.anniversaire.co.jp  
13店舗

COTE D'AZUR

コート・ダジュール  
www.cotedazur.jp  
141店舗

エンターテインメント事業

快活  
CLUB

快活CLUB  
www.kaikatsu.jp  
205店舗

快活  
フィットネス  
CLUB

快活フィットネス  
www.kfit.jp  
2店舗

株式会社AOKIホールディングス

〒224-8588 神奈川県横浜市都茅ヶ崎中央24-1 tel.045-941-1888

www.aoki-hd.co.jp

グループ総店舗数924店舗(店舗数は2013年2月末時点)

AMI

柔軟面用

# 連続接触圧測定器

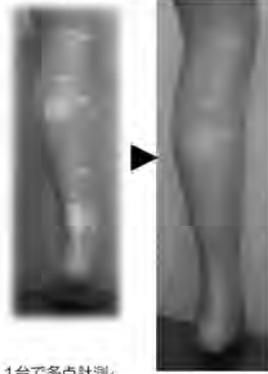
—エアバック式— 柔らかい面の接触間に袋を介し、エアを封じ込め圧力を計測  
その熱影響は、水圧校正にて極めて少ないことを確認



体圧・座圧計測

仙骨の皮膚血流は、4.2kPa(32mmHg)で  
(完全)阻害? ベッド角・姿勢では?

着圧・衣服圧計測



坐骨は、硬い平面で約20kPa  
面では?  
姿勢では?

シューズ周囲圧

A0101-G35-AC



1台で多点計測・  
センサ付けたままの間欠計測も



AMI3037-SB

AMI3037-10



AMI3037-2/2B



A0905-SA



生体、ダミー(硬い面)両用対応

コックを引けばエア封入  
センサ種類替え、多測対応

特許技術による接触圧校正法によって、再現性・明確な精度(熱影響n)など確認!  
高い信頼を得た計測を実現!! 他機器とのシステムが可能!



流体圧計測

.....熱影響含む校正された値で計測として国際特許取得.....

アメリカ: U.S.Pat.5522966 July

≪特許

ヨーロッパ: E.P.Pat.0831313 August

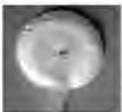
日本: 3268601 January 18,2002

空気封入式接触圧計測法/特願2009-139649

円筒拡張 接触圧校正法/特願2008-116278

## <接触圧・血流計測システム>

接触圧・血流センサ  
加圧/血流チャンバ



皮膚への圧迫状況を数値比較

- 特許 -

チャンバ 特許第3803854

センサ 特許第3731183

## 株式会社 エイエムアイ・テクノ

http://www.ami-tec.co.jp tel 03-5339-7417 E-mail: ami-tec@m2.pbc.ne.jp

### 用途

- 接触圧
- 着圧
- 体圧
- 拘束圧
- 衣服圧
- 被服圧
- 接触力
- 締付
- 座圧
- 柔軟性
- 風圧
- 水圧
- 緩和変化
- 把持
- 筋変形
- 動作解析
- 筋負荷
- 皮膚硬度
- 靴周辺圧
- 面分布圧
- ポイント圧
- 他機器校正
- 機器組込

# 「行動観察」は

人の無意識の行動を観察することで  
潜在ニーズや暗黙知を見える化する  
マーケティング・業務改善手法です。

このような課題をお持ちではありませんか？

生活者ニーズにあった  
商品・コミュニケーションを開発したい

- ・潜在ニーズの発見
- ・購買を促す商品訴求
- ・購買行動に沿った売場づくり

お客さま満足度の高いサービスを  
提供したい

- ・サービスオペレーションの質の向上
- ・お客さまが利用しやすい施設への改善
- ・接客力の向上

職場・現場の生産性を向上したい

- ・本質的課題の発見
- ・快適に働ける職場環境
- ・ワークスタイルの改善

職場の事故リスクを最小化したい

- ・潜在的リスク要因の見える化・共有
- ・モチベーションなど、心理面からの対策
- ・組織の安全意識の向上

「行動観察」だからこそ得られるメリットがあります

改善点の指摘だけでなく、  
科学的解説を加えることによる説得力

「聞く」だけでは得られない、  
潜在的なニーズ・リスク・  
スキルの抽出

先入観を廃し、客観的に  
観察することによる、新しい  
気付きの獲得

「事実」を起点としている  
からこそ、説得力・納得性  
の高いアウトプット

事前  
申込制

## 無料セミナー開催

人の行動を「観察する」ことで、いったい何が見えてくるのか、お持ちの課題にどのように役立つのか、事例を交えてご紹介します。ぜひこの機会にご参加ください。

東京 7/8 8/23 ・ 名古屋 7/5 8/26 ・ 大阪 7/1 8/28 <開催時間> 13:30 ~ 16:30  
(予定・各会場共通)

詳細・お申込・

お問合せはHPから!

[kansatsu.inet.co.jp](http://kansatsu.inet.co.jp)

エルネット 行動観察

検索



大阪ガスグループ  
株式会社 **エルネット**

東京 TEL.03-3254-5261 大阪 TEL.06-6136-3082  
エルネットは大阪ガス行動観察研究所の指定会社です。



# KES-F7 THERMO LABO 精密熱物性測定装置

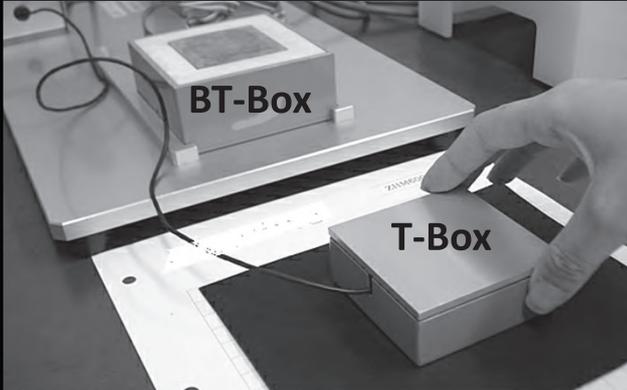
繊維評価に欠かせない装置

Kawabata Evaluation Systems

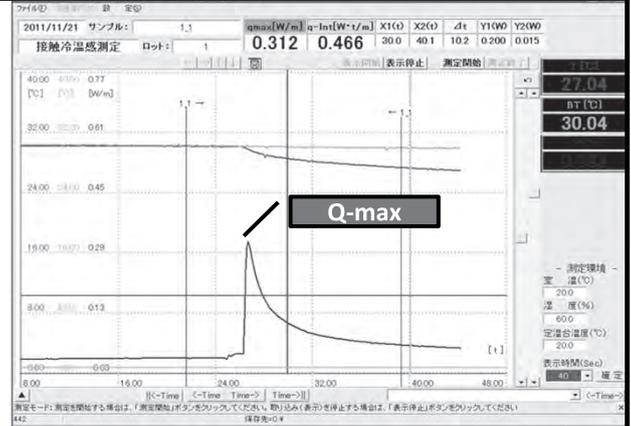
カトーテック株式会社

京都市南区西九条豊田町4 TEL075-693-1660

## 接触冷温感測定

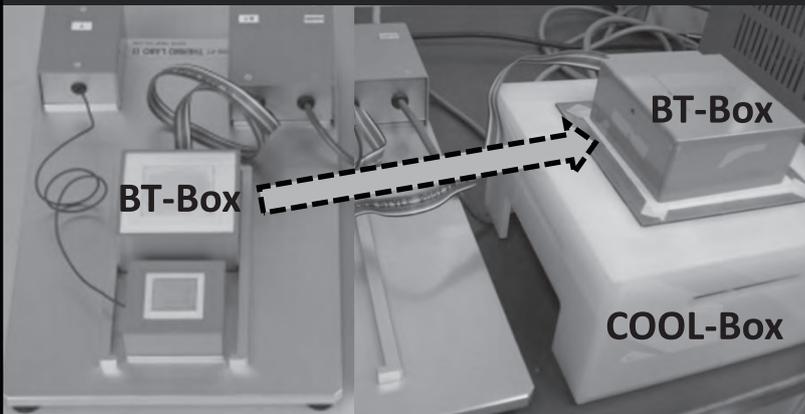


BT-Box上で蓄熱させたT-Boxをサンプル上に置いた時の熱流量最大値Q-max(W/m<sup>2</sup>)を測定します。Q-maxが高いほど接触冷感の高いサンプルです。

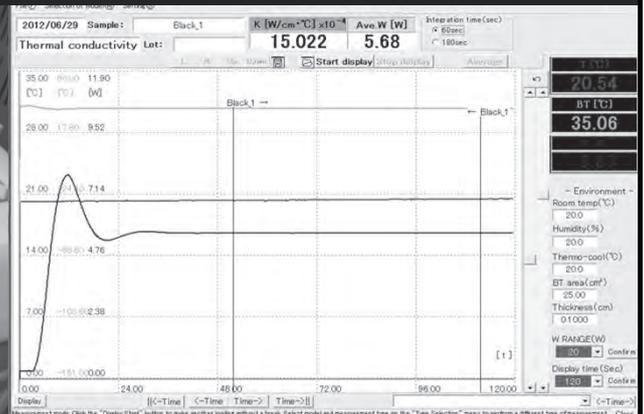


測定中はソフトウェア上で時系列に確認。画面の再現BIN/CSVデータとして保存可能。

## 熱伝導特性測定



設定温度に温めたBT-Boxをサンプルを介してΔ10℃に保たれたCOOL-Boxに置いた時、設定温度を保つために消費されるBT-BoxのW消費電力を見る。



W変動確認や60/180sec間のW値積算が可能。(海外出荷対応: 英語表記可能)

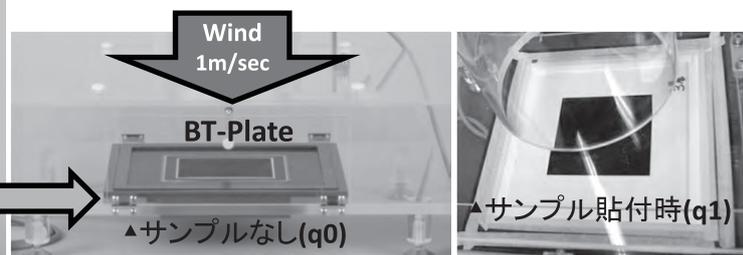
■熱コンダクタンス(W/m<sup>2</sup>·K) = W/BT面積x10(Δ℃)

## 保温性測定



- 条件 10x10cm BT-Plate温度を風洞内空気温度より10℃高く設定します。
- 測定 設定した温度BT-Plateのサンプルなし/貼付時の熱損失Wを見ます。(60/180sec間積算できます)
- 計算 サンプルなしを0(%)とし、サンプル取付時の保温率(%)を求めます。

$$\text{保温率 (\%)} = (q_0 - q_1) / q_1 \times 100$$



クール繊維や防寒機能繊維の評価に使用されています。

# Sankei

## 卓上走査型電子顕微鏡

## NeoScope™ JCM-6000



NEW

特徴

### ●より直感的な走査を操作を実現

わかりやすい操作画面に加え、タッチパネル操作でさらに直感的に

### ●クイックレスポンス

迅速な装置の立ち上がり  
高真空/低真空モードの切り替えもワンタッチ

### ●Easyメンテナンス

電子銃フィラメントはウェーネルト 一体型で交換も簡単  
オートガンアライメント機能付

### ●豊富な機能

高真空/低真空モードの切り替えが可能  
傾斜回転モーター駆動ホルダー(オプション)  
使用で様々な角度から試料を観察



## 小型スパッタ装置 SmartCoater

導電性のない試料に  
メタル(Au,Pt)コーテ  
ィングを施し、チャージ  
アップを防止!!  
簡単操作の  
イオンスパッタリング  
装置です



## 共焦点レーザスキャン顕微鏡 LSM700



マテリアルサイエンスのための非接触の3Dトポグラフィ解析装置

## 回転マイクロトーム RM2265



様々なタイプの標本から高品質な切片が容易に作製できる  
全自動万能型回転マイクロトーム

## 分析のための試料作りから観察・測定までサポートします

光学・測定・画像機器総合商社

# 株式会社 三 啓

ホームページ

<http://www.sankei-coltd.co.jp>

本社営業部 産業機器システム部

[industrial-device@sankei-coltd.co.jp](mailto:industrial-device@sankei-coltd.co.jp)

〒136-0075 東京都江東区新砂一丁目6-35

TEL 03(5665)0515 FAX 03(5665)0520

営業所

仙台BSC・筑波・横浜・静岡・名古屋・大阪

**顕微鏡用急冷加熱ステージ**

LK300B



このステージは、顕微鏡下の試料を温度制御し、20000°C/minの速度でジャンプ(急冷)することができ、その挙動を観察できます。

|    |        |                  |
|----|--------|------------------|
| 仕様 | 温度範囲   | -50~300°C        |
|    | ジャンプ速度 | 20000°C/min(MAX) |

**顕微鏡用延伸ステージ**

10073B



このステージは、顕微鏡下の試料を加熱・冷却した状態で延伸(引張)による変化・伸び・破断をリアルタイムで観察できます。(室温での延伸(引張)測定も可能です。)

|    |       |            |
|----|-------|------------|
| 仕様 | 温度範囲  | -100~350°C |
|    | 荷重レンジ | 0.1~200N   |

**顕微鏡用冷却加熱ステージ**

10002L

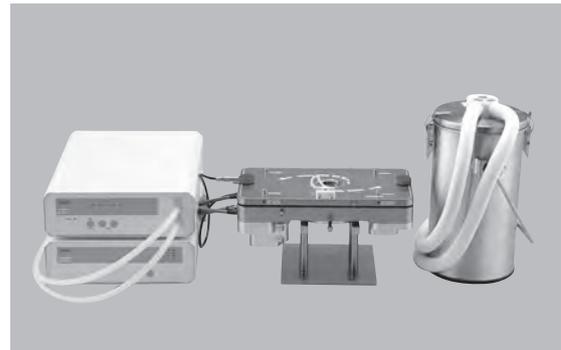


このステージは、顕微鏡下の試料の温度を自由に制御することができます。物質の熱変成の研究、品質管理等に使用できます。温度範囲が広く、設定温度に対してオーバーシュートしません。操作が簡単で高再現性です。

|    |      |            |
|----|------|------------|
| 仕様 | 温度範囲 | -190~600°C |
|----|------|------------|

**顕微鏡用冷却加熱せん断ステージ**

CSS450C



このステージは、顕微鏡下の試料に温度をかけながら、せん断「ずり」を加え、試料の構造変化及び、せん断を停止させた後の応力緩和・構造回復状態等のレオロジー現象を顕微鏡観察できます。

|    |        |                             |
|----|--------|-----------------------------|
| 仕様 | 温度範囲   | -50~450°C                   |
|    | せん断モード | 定常せん断<br>ステップせん断<br>オシレーション |

4製品とも貴方のご使用の顕微鏡へセットできます

さらに進化。ナノレベルの白さへ

今日を愛する。  
**LION**

驚きのナノ洗淨  
**NANOX**  
ナノックス

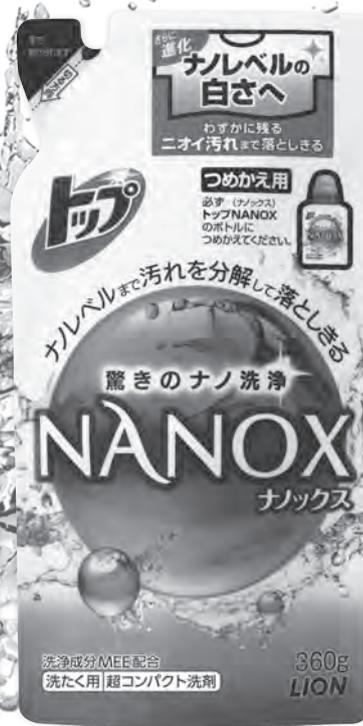
落とすににくい機能性衣料の黒ずみまで落とすきり  
「ナノレベルの白さ<sup>\*1</sup>」を実現!

改良  
新発売

持ちやすく、開閉しやすい  
新形状キャップ!



キャップに「くぼみ」をつけ、  
手の小さな方にもさらに  
使いやすく!



ナノレベルの白さ<sup>\*1</sup>  
毎日の着用で発生する目に見える  
黒ずみから、目に見えないニオイ汚れ  
のもとまでをナノレベルに分解して  
実現する白さ

当社独自の洗淨成分  
**MEE**



新配合 洗淨性能増強剤  
**ER**

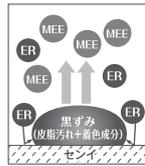


進化した「ナノ洗淨」!

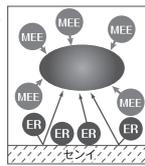
「新・ナノ洗淨」の黒ずみを防ぐメカニズム

複雑な構造のセナイからなる機能性衣料でも「ニオイ汚れ」をしっかり落とし、さらに黒ずみまで防いで本来の白さへ。

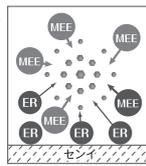
Step 1  
新配合の洗淨性能増強剤ERが皮脂汚れ・着色成分に働きかけ、「黒ずみ汚れ」をセナイからはがします。



Step 2  
セナイからはがれた「黒ずみ汚れ」をMEEが全方向から取り囲み、分解しやすい状態にします。



Step 3  
「黒ずみ汚れ」をナノレベルに分解し、セナイ本来の白さに洗い上げます。



(イメージ図)

# 織 維 学 会 誌

平成 25 年 6 月 第 69 卷 第 6 号 通巻 第 807 号

## 目 次

### 繊維と工業(Reviews and News)

- 【時 評】 第44回夏季セミナー — 繊維の「グローカリゼーション」を目指して —  
..... 河原 豊 ... P-173
- 【特 集】 〈ナノファイバーの新展開〉
- メデイカル用途向けナノファイバーの開発..... 魏 凱 ... P-174
- 蓄電デバイス部材としてのナノファイバー ..... 木村 直貴・金 翼水 ... P-178
- ナノファイバー製造装置の技術動向..... 渡邊 圭 ... P-182
- ナノファイバーを利用したマスクの開発..... 高橋 徹 ... P-186
- 北陸におけるナノファイバー製品開発の取り組み..... 金丸 亮二・九曜 英雄 ... P-189
- 【レポート】 韓国繊維学会創立 50 周年記念国際学会(韓国大邱市、EXCO)参加報告 ..... 金 翼水 ... P-192
- 【連 載】 〈機能紙 6〉
- ペーパーエレクトロニクス展開の可能性..... 江前 敏晴 ... P-194
- 〈文化の伝承 - 祭り - 3〉
- 京都祇園祭の神輿 — 京都人でもあまり知らない祇園祭 — ..... 吉川 幸宏 ... P-196
- 【議 事 録】 (一般社団法人)繊維学会第 648 回理事会議事録(抜粋)..... P-200

### 報 文(Original Articles)

- 【一般報文】 靴擦れ軽減薄地ストッキングの開発 — 衝撃吸収性の観点から —  
..... 諸岡 晴美・笹川 哲・基 利枝子・諸岡 英雄 ... 101
- Structure and Mechanical Properties of Poly(trimethylene terephthalate)  
Fibers Obtained by CO<sub>2</sub> Laser Drawing and a Secondary Contact Heater Drawing  
..... Young-Ah Kang, Kyoung-Hou Kim, Xin Zhao, Yang Hun Lee,  
Toshifumi Ikaga, and Yutaka Ohkoshi ... 107
- 溶融エレクトロスピンニング法により調製したポリ L-乳酸/ポリ D-乳酸ブレンド繊維の構造  
..... 西川 午郎・山本 真揮・山根 秀樹・Amalina M. Afifi  
Jae-Chang Lee・河原 豊・辻 正樹 ... 118

# Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 69, No. 6 (June 2013)

## Contents

### [Reviews and News]

#### 〈Foreword〉

The 44th Summer Seminar – Think Globally, Act Locally –

..... Yutaka KAWAHARA ... P-173

#### 〈Special Issue on New Aspects of Nanofibers〉

The Development of Nanofiber for Medical Application..... Kai WEI ... P-174

Nanofiber as the Members of Storage Device ..... Naotaka KIMURA and KIM ICK SOO ... P-178

Technology Trends of Nanofiber Production Machines ..... Kei WATANABE ... P-182

Development of Masks Using Nanofibers ..... Tohru TAKAHASHI ... P-186

Nanofiber Project at Hokuriku District ..... Ryoji KANAMARU and Hideo KUYO ... P-189

#### 〈Report〉

The International Textile Conference 2013 (Daegu, Korea)..... KIM ICK SOO ... P-192

#### 〈Series of Reviews for High Performance Papers, Specialty Papers 6〉

Potential Development of Paper Electronics ..... Toshiharu ENOMAE ... P-194

#### 〈Series of Cultural Tradition Associated with Festivals 3〉

Parade of “Mikoshi” – Rarely Known Aspect of Gion Festival among Citizens of Kyoto –

..... Yukihiro YOSHIKAWA ... P-196

#### 〈Minutes〉

Summary of 648th Sen'i Gakkai Board of Directors ..... P-200

### [Original Articles]

#### 〈Transactions〉

Development of Fine Stockings to Reduce Shoe Sores — In Terms of Shock Absorption —

..... Harumi MOROOKA, Tetsu SASAGAWA, Rieko MOTOI, and Hideo MOROOKA ... 101

Structure and Mechanical Properties of Poly(trimethylene terephthalate)

Fibers Obtained by CO<sub>2</sub> Laser Drawing and a Secondary Contact Heater Drawing

..... Young-Ah KANG, Kyoung-Hou KIM, Xin ZHAO, Yang Hun LEE,

Toshifumi IKAGA, and Yutaka OHKOSHI ... 107

Structure of Melt-Electrospun Poly(L-lactic acid)/Poly(D-lactic acid) Blend Fibers

..... Goro NISHIKAWA, Masaki YAMAMOTO, Amalina M. AFIFI, Jae-Chang LEE,

Hideki YAMANE, Yutaka KAWAHARA, and Masaki TSUJI ... 118

# Sen'i Gakkaishi

(*Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan*)

---

Vol.69 No.6

June 2013

---

## CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

### **[Transactions]**

- Development of Fine Stockings to Reduce Shoe Sores — In Terms of Shock Absorption —  
..... Harumi Morooka, Tetsu Sasagawa, Rieko Motoi, and Hideo Morooka ... 101
- Structure and Mechanical Properties of Poly(trimethylene terephthalate)  
Fibers Obtained by CO<sub>2</sub> Laser Drawing and a Secondary Contact Heater Drawing  
..... Young-Ah Kang, Kyoung-Hou Kim, Xin Zhao, Yang Hun Lee,  
Toshifumi Ikaga, and Yutaka Ohkoshi ... 107
- Structure of Melt-Electrospun Poly(L-lactic acid)/Poly(D-lactic acid) Blend Fibers  
..... Goro Nishikawa, Masaki Yamamoto, Amalina M. Afifi, Jae-Chang Lee,  
Hideki Yamane, Yutaka Kawahara, and Masaki Tsuji ... 118

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

| 開催年月日               | 講演会・討論会等開催名(開催地)  | 掲載頁       |
|---------------------|---|-----------|
| 25. 6. 28(金)        | 第43回先端繊維素材研究委員会(AFMc)公開ミニシンポジウム～表面を操る接着・粘着・撥水技術～(宇治市・京都大学宇治キャンパス)                       | 平成25年5月号  |
| 7. 3(水)             | 第41回関西繊維セミナー「京のものづくり 伝統と先進」(京都市・京都市産業技術研究所)   | A7        |
| 7. 5(金)             | 元素ブロック第2回公開シンポジウム 文部科学省 科学研究費 新学術領域研究-元素ブロック高分子材料の創出-(東京都・東京工業大学大岡山キャンパス東工大蔵前会館)        | A10       |
| 7. 5(金)<br>6(土)     | マテリアルライフ学会「第24回研究発表会」(京都市・京都工芸繊維大学)   | A10       |
| 7. 22(月)            | 繊維学会 第172回被服科学研究委員会(東京都・実践女子学園生涯学習センター)   | A7        |
| 8. 6(火)             | プラスチック成型加工学会第136回講演会-防塵防水シールの基礎からトレンド・最新技術-(東京都・東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール)                     | A10       |
| 8. 8(木)<br>~10(土)   | 平成25年度第44回繊維学会夏季セミナー 繊維の「グローバルイノベーション」を目指して-Think Globally, Act Locally-(桐生市・桐生市市民文化会館) | A3~4      |
| 8. 21(水)<br>22(木)   | 第26回におい・かおり環境学会(東京都・文京学院大学)   | A10       |
| 8. 31(土)<br>9. 7(土) | JTCCの「繊維産業資材の基礎と応用(大阪会場)」講座(大阪市・大阪産業創造館)  | A10       |
| 9. 5(木)<br>6(金)     | 平成25年度繊維学会秋季研究発表会(名古屋市・豊田工業大学)  | A5~6      |
| 9. 5(木)<br>6(金)     | 超臨界流体に関する国際ミニシンポジウム2013(名古屋市・豊田工業大学)  | A9        |
| 9. 5(木)<br>~7(土)    | 第15回日本感性工学会大会-しなやかな感性-(東京都・東京女子大学)  | A10       |
| 9. 10(火)<br>11(水)   | 第37回静電気学会全国大会(千葉市・千葉大学教育学部)   | A10       |
| 9. 19(木)<br>20(金)   | 第18回高分子分析討論会(東京都・明治大学 駿河台キャンパス)   | A11       |
| 9. 23(月)<br>~27(金)  | 第49回X線分析討論会および第15回全反射蛍光X線分析法(TXRF2013)国際会議合同会議(大阪市・大阪市立大学・杉本キャンパス)                      | A11       |
| 9. 25(水)<br>~27(金)  | 第61回レオロジー討論会(山形市・山形大学 工学部)  | A10       |
| 10. 5(土)<br>12(土)   | JTCCの「繊維産業資材の基礎と応用(名古屋会場)」講座(名古屋市・ウイックあいち(助愛知県産業労働センター))                                | A10       |
|                     | 繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書   | 平成22年6月号  |
|                     | 繊維学会定款(平成24年4月1日改訂)   | 平成24年3月号  |
|                     | Individual Membership Application Form  | 平成24年12月号 |
|                     | 訂正・変更届用紙  | 平成24年12月号 |
|                     | 繊維学会誌報文投稿規定(平成24年1月1日改訂)  | 平成25年1月号  |
|                     | 繊維学会入会申込書(維持・賛助会員用)   | 平成25年5月号  |
|                     | 繊維学会入会申込書(正・学生会員用)  | 平成25年6月号  |

## 「繊維と工業」編集委員

|        |  |
|--------|--|
| 編集委員長  | 土田 亮(岐阜大学)   |
| 編集副委員長 | 鬘谷 要(和洋女子大学大学院) 出口 潤子(旭化成せんい(株))                                 |
| 編集委員   | 植野 彰文(KBセーレン(株)) 大島 直久(東海染工(株)) 金 翼水(信州大学) 澤田 和也(大阪成蹊短期大学)       |
|        | 高瀬 栄一(三菱レイヨン(株)) 高崎 緑(宮城教育大) 寺本 喜彦(東洋紡(株)) 中西 輝薫(エニチカトレーディング(株)) |
|        | 西田 幸次(京都大学化学研究所) 増田 正人(東レ(株)) 村上 泰(信州大) 八重田 徹(王子ホールディングス(株))     |
|        | 山田 秀男(帝人(株))   |
| 顧問     | 浅井 恒雄(科学技術ジャーナリスト) 浦川 宏(京都工芸繊維大学大学院)                             |

## 平成25年度繊維学会主要行事予定

| 行 事 名         | 開 催 日                   | 開 催 場 所       |
|---------------|-------------------------|---------------|
| 平成25年度夏季セミナー  | 平成25年 8 月 8 日(木)～10日(土) | 桐生市市民文化会館(桐生) |
| 平成25年度秋季研究発表会 | 平成25年 9 月 5 日(木)、6 日(金) | 豊田工業大学(名古屋)   |

## 平成26年度繊維学会主要行事予定

| 行 事 名                         | 開 催 日                      | 開 催 場 所                    |
|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 平成26年度年次大会                    | 平成26年 6 月11日(水)～13日(金)     | タワーホール船堀(東京)               |
| 創立 70 周年記念事業<br>(式典・国際シンポジウム) | 平成26年 9 月28日(日)～10月 1 日(水) | 東京ビッグサイト<br>TFT ホール(東京・有明) |

### 会員の皆様へ

これまで繊維学会では、昨今の社会情勢と速報性に鑑みて繊維学会誌(「繊維と工業」+「報文」)のオンラインジャーナル版の整備に努めて参りました。その結果、オンラインジャーナルの十分な運用実績も積み、さらに本年からは、冊子体発行と同時に全ての掲載記事がインターネット公開される体制を整えることができました。また、会告につきましても、冊子体と同じ形式でホームページに掲載することで、皆様に必要な情報が、何時でも何処からでもご覧頂けるようになりました。

この成果を受け、学会事業合理化の一環として、**本年 7 月号(予定)より学生会員への冊子体のお届けを休止させて頂く事としました。**さらに今後、維持会員、賛助会員、正会員の皆様にも、各位のご利用形態に合わせた合理的な選択肢を提案し、冊子体の発行部数を実情に即した規模に縮小させていきたいと考えております。新しい運用体制にご理解を頂き、今後とも繊維学会並びに繊維学会誌へのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル  
(中法)学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

**平成 25 年度第 44 回繊維学会夏季セミナー**  
**繊維の「グローカリゼーション」を目指して**  
**— Think Globally, Act Locally —**

日 時：平成 25 年 8 月 8 日(木)～10 日(土)

場 所：桐生市市民文化会館(群馬県桐生市織姫町 2-5)、TEL 0277-40-1500

ホームページ：http://www.kiryu-piif.jp/

交通：JR 桐生駅から 9 分、東武線、新桐生駅から車で 5 分

定 員：300 名

趣 旨：この度、総合テーマとして“繊維の「グローカリゼーション」を目指して—Think Globally, Act Locally—”を掲げ、本年度の夏季セミナーを企画しました。今日、ローカルなイノベーションがすぐに世界経済に影響し、逆に、世界経済との関わりからイノベーションの方向を捉えることが強く要求され、研究開発・生産活動におけるパラダイムシフト、すなわち創造的破壊が求められる時代となりました。本セミナーでは、繊維産業が今後どう進むべきか？学術面だけでなく、経済情勢も話題として取り上げ企画しました。【特別講演】では、まず、文部科学省の科学技術政策からみた繊維研究開発の方向に関する講演を予定しています。次いで、我が国の繊維産業を取り巻く日本 EU 経済連携協定、自由貿易協定に関する講演、さらに、経済に大きな影響を及ぼす「エネルギー」について日本エネルギー学会長から講演が行われます。一方、今回の総合テーマにふさわしい地元の世界企業の活動紹介も予定されています。【分科会セッション】では、今後、繊維産業が発展していく上でキーとなる 6 つの研究・技術開発を積極的に取り上げました。皆様の御蔭をもちまして、最終日まで、濃密なサイエンスを体験できるプログラムが完成しました。また、セミナーだけでなく、群馬の自然・風土と繊維産業を体験していただく機会として【繊維関連施設への視察】を 2 日目の午後に準備しました。こちらも是非、ご参加ください。セミナー期間中に日本最高気温を記録するかもしれませんが、熱く参加者の相互交流を深める場として、是非、本セミナーにご参加くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

プログラム：

|                | 時 間                                  | プ ロ グ ラ ム  |   |
|----------------|--------------------------------------|--|---|
| 第 1 日<br>(8/8) | 11:00～                               | 受 付 開 始  |   |
|                | 13:15～13:25                          | 開 会  |   |
|                | 13:25～14:15                          | 【特別講演 1】 科学技術政策及びナノテク・材料研究からみた繊維(仮題)<br>文部科学省 前田 豊 |   |
|                | 14:15～15:05                          | 【特別講演 2】 EPA/FTA の拡大と繊維産業<br>日本化学繊維協会 鍵山博哉         |   |
|                | 15:25～16:15                          | 【特別講演 3】 地域資源を活用した楽しい低炭素社会構築<br>日本エネルギー学会 宝田恭之     |   |
|                | 16:15～16:50                          | 【特別講演 4】 地元で頑張る世界企業の紹介(仮題)<br>群馬県繊維工業試験場場 上原英之     |   |
|                | 17:30～19:30                          | 懇 親 会  |   |
| 第 2 日<br>(8/9) | テーマ                                  | 「A：炭素繊維」   | 「B：テキスタイル・ファッション・感性」  |
|                | 9:15～ 9:50                           | 【A1】 機能性カーボンへの挑戦<br>—カーボンで低炭素社会を—<br>群馬大学 尾崎純一     | 【B1】 カスタムメイドガーマントの将来について<br>島精機製作所 雑貨 透                                 |
|                | 9:50～10:25                           | 【A2】 新規前駆体高分子を原料とする炭素繊維の製造<br>産業技術総合研究所 羽鳥浩章       | 【B2】 国際市場におけるアパレル設計の展望<br>～3D 着装シミュレーションの活用事例の実演～<br>ユカアンドアルファ 保利淳／中村恵子 |
|                | 10:35～11:10                          | 【A3】 炭素繊維複合材料の産業用途展開<br>東レ 平野啓之                    | 【B3】 群馬県の繊維産業と絹製品開発<br>群馬県繊維工業試験場 笠原 力                                  |
|                | 11:10～11:45                          | 【A4】 自動車炭素繊維複合材料(CFRP)部材の量産技術開発<br>三菱レイヨン 秋山浩一     | 【B4】 テキスタイルの材料特性と感性評価<br>神戸大学 井上真理                                      |
|                | 12:30～16:00                          | 繊維関連施設の視察  |   |
|                | テーマ                                  | 「C：エネルギー」  | 「D：繊維加工」  |
| 16:30～17:05    | 【C1】 リチウムイオン電池の現状と今後の展開<br>群馬大学 鳶島真一 | 【D1】 弱酸性ポリエステルが肌に与える影響<br>帝人フロンティア 堀川直幹            |   |

|               |             |   |  |
|---------------|-------------|---|--|
| 第2日<br>(8/9)  | 17:05~17:40 | 【C2】ドコモ・グリーン基地局構想と環境エネルギー技術の紹介<br>NTTドコモ 小宮一公、竹野和彦            | 【D2】染色加工におけるマイクロバブルの利用<br>都立産業技術センター 榎本一郎    |
|               | 17:40~18:15 | 【C3】電気化学キャパシターと電極材料技術の展開<br>太陽誘電 鈴木和昌                         | 【D3】可溶性羊毛タンパク質の調製とその応用<br>群馬大学 瀧上昭治          |
|               | 18:15~20:45 | ポスターセッション・ワインパーティー<br>於：レセプションホール                             |  |
| 第3日<br>(8/10) | テーマ         | 「E：バイオポリマー」   | 「F：高分子のからみあい」                                |
|               | 9:15~9:50   | 【E1】ポリ乳酸樹脂の改質技術<br>花王 武中 晃                                    | 【F1】レオロジーから見た「からみあい」<br>長岡技術科学大学 五十野善信       |
|               | 9:50~10:25  | 【E2】微生物産生ポリエステルの高強度繊維化と大型放射光を用いた構造解析<br>東京大学 岩田忠久             | 【F2】粗視化分子シミュレーションによる「からみあい」の解析<br>旭化成 青柳岳司   |
|               | 10:35~11:10 | 【E3】量子ビームによるバイオポリマーの機能化<br>日本原子力開発機構 玉田正男                     | 【F3】固体物性から見た「からみあい」<br>東京工業大学 扇澤敏明           |
|               | 11:10~11:45 | 【E4】フルフラールからのバイオマスC4モノマーの合成とそのバイオマス炭素含有率の測定<br>産業総合技術研究所 国岡正雄 | 【F4】成形加工における「からみあい」の役割<br>北陸先端科学技術大学院大学 山口政之 |
|               | 11:45~12:00 | 閉会・ポスター賞表彰  |  |

#### 参加費：

|        | 個人会員    | 維持・賛助会員 | 一般      |
|--------|---------|---------|---------|
| 大学・官公庁 | 25,000円 | 25,000円 | 28,000円 |
| 企業     | 35,000円 | 35,000円 | 38,000円 |
| 学生     | 8,000円  | -       | 10,000円 |

参加申込み：お申し込みはインターネットよりお願いいたします。

繊維学会夏季セミナーのページ <http://www.fiber.or.jp/jpn/events/2013/summer/index.html>

注)登録の際、繊維学会会員の方は(個人会員、学生会員の方)が必要になります。

会員番号は学会誌送付用封筒に記載されておりますのでご確認ください。

懇親会費：5,000円 第1日目(8月8日)17:30~

参加費振込先：参加費は現金書留又は、銀行振込みでお支払いください。

※振込手数料は振込人にてご負担ください。現金書留または銀行の控えをもって、本会からの領収書に代えさせていただきます。

現金書留郵送先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-209 繊維学会事務局 宛

銀行口座：りそな銀行目黒駅前支店普通口座 0889579 一般社団法人繊維学会

ポスター発表募集：ポスター発表を募集します。発表申込はWEBよりお願いいたします。

[http://www.fiber.or.jp/jpn/events/2013/summer/Form\\_appl/appl\\_present.php](http://www.fiber.or.jp/jpn/events/2013/summer/Form_appl/appl_present.php)

申込締切 平成25年6月30日(日)

予稿原稿提出締切 平成25年6月30日(日)

繊維関連施設の視察申込：繊維関連施設の視察の参加をご希望の方はHPを確認の上、繊維学会事務局へお申し込みください。

問い合わせ先：繊維学会事務局長野々村弘人 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

E-mail: office@fiber.or.jp、電話 03-3441-5627、FAX 03-3441-3260

宿泊について：各自で手配願います。JR 桐生駅近郊、東武線の藪塚駅、相老駅近くにホテルがございます。早めにご予約いただきますようお願い申し上げます。

#### 実行委員会

実行委員長：河原豊(群馬大学)

副実行委員長：粕谷健一(群馬大学)、岩田忠久(東京大学)、保城秀樹(クラレ)、森本英行(群馬大学)

実行委員：木村良晴(京都工芸繊維大学)、鞠谷雄士(東京工業大学)、塩谷正俊(東京工業大学)、磯貝 明(東京大学)、増子富美(日本女子大学)、荻野賢司(東京農工大学)、高寺政行(信州大学)、米山 賢(群馬大学)、武野宏之(群馬大学)、橋 熊野(群馬大学)、羽倉茂樹(三菱レイヨン)、野島一博(王子製紙)、仲野幸弘(花王)、樋口明久(東京都立産業技術研究センター)、新井正直(群馬県繊維試験場)、恩田紘樹(群馬県立群馬産業技術センター)

事務局：野々村弘人

# 平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会

## ■ 研究発表会・ポスター発表参加募集および参加要領

主催：一般社団法人 繊維学会

日時：平成 25 年 9 月 5 日(木)～6 日(金) 2 日間

(ポスター発表は第 52 回染色化学討論会および超臨界流体国際シンポジウムと合同)

場所：豊田工業大学

愛知県名古屋市天白区久方 2-12-1

名古屋市営桜通線地下鉄相生山駅より徒歩15分

(地下鉄野並駅からタクシーで5分、車での来場はご遠慮ください)

アクセスの詳細は下記参照

<http://www.toyota-ti.ac.jp/access/index.html>

特別講演：徳川美術館 館長・徳川黎明会

会長 徳川義崇氏「文化を守る」

愛知県絞工業組合 理事長 竹田嘉兵衛氏

「現代に生きる伝統工芸有松・鳴海絞り」

研究発表会：特定テーマと一般研究発表およびポスターを予定しています。

特定テーマ(1)「繊維構造と構造形成過程は、ここまで分かったが…」

特定テーマ(2)「ポリ乳酸と生分解性高分子：何処までが本当に分かったのか？」

特定テーマ(3)「感性計測技術の発展と今後の課題」

特定テーマ(4)「高機能繊維創製のための紡糸技術のこれまでとこれからの流れ」

一般研究発表(1)繊維・高分子固体・複合材料の構造・物性・機能(相分離、ソフトマテリアル、界面、ゲルなどを含む)

一般研究発表(2)繊維・高分子の創製(新素材合成、素材変換・化学修飾、無機素材・有機無機複合素材などを含む)

一般研究発表(3)テキスタイル・消費科学(感性、感覚、計測などを含む)

一般研究発表(4)成形・加工・紡糸(染色、機能加工、ナノファイバー、複合材料などを含む)

一般研究発表(5)天然材料・生分解性高分子・医用高分子材料(天然繊維、紙・パルプ、バイオポリマー、バイオマテリアル、再生医療用材料などを含む)

口頭発表：発表 15 分、質疑応答 4 分、交代 1 分です。

ポスター発表：発表者と参加者の活発な議論による研究交流を推進するため、ポスター発表の場を設けています。

【P1 一般部門】

平成 25 年 9 月 1 日時点で満 30 歳以上の研究者による発表

【P2 若手部門】

平成 25 年 9 月 1 日時点で満 30 歳未満の研究者による発表。若手ポスターについては、優秀発表者へポスター賞を授与いたします。

※ポスター発表のボードの大きさは幅 90cm、高さ 210cm となります。1 日目の 15 時までには貼っていただくようお願いいたします。

第 52 回染色化学討論会：

詳細：ホームページをご覧ください。

主催：(一社)繊維学会 染色研究委員会

日時、会場、懇親会は秋季研究発表会と同一です。

ポスター発表は染色化学討論会、超臨界流体国際シンポジウムと秋季研究発表会の合同で行います。

申込方法が秋季研究発表会とは異なります。ホームページに詳細が掲載されています。

発表プログラム：後日掲載予定

研究発表申込方法：発表申込、予稿集原稿のいずれも専用の WEB から発表 1 件毎に登録、投稿していただきます。

メール、FAX による受付は行いません。

発表申込：平成 25 年 5 月 20 日(月) 12 時～平成 25 年 6 月 30 日(日) 17 時

予稿集原稿投稿：平成 25 年 7 月 10 日(水) 12 時～平成 25 年 8 月 4 日(日) 17 時

(注意)締切寸前は WEB が混み合いますので、早めの申込および投稿をお勧めします。

締切期限を過ぎますと自動的に WEB が閉鎖されてしまい受け付けられなくなりますので、ご注意ください。

発表方法：口頭発表には液晶プロジェクターが準備されていますが、パソコンは発表者自身でご持参ください。



予稿原稿の書式：予稿原稿投稿は7月10日12時～8月4日17時の間に、予稿原稿投稿システムで行ってください。

PDFファイル以外は受理できません。そのほか、書式中にある注意事項をよくお読みください。

予稿原稿送付方法：原稿をPDFファイルにして、原稿送付ページより提出してください。

## ■ 参加登録の方法

参加申込：参加者は、繊維学会ホームページの秋季研究発表会参加申込用紙に必要事項をお書きいただき、WEBにて申込みをしてください。なお、参加登録は参加費入金をもって受理されますので、事前登録締切日までに下記の「送金方法」をご覧ください、ご送金ください。振込手数料は各自でご負担ください。

(注)繊維学会会員番号(個人会員、学生会員の方)および協賛学協会を必ずご記入ください。

未記入の場合には非会員扱いとなりますので、ご注意ください。

送金方法：登録者は、期限までに参加登録料を下記のいずれかの方法にてご送金ください。

- (1) 現金書留：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208  
一般社団法人繊維学会 平成22年度繊維学会秋季研究発表会係
- (2) 銀行振込：りそな銀行 目黒駅前支店 普通口座 0889579  
(加入者名)一般社団法人繊維学会
- (3) 郵便振替：口座番号 00160-9-756624  
(加入者名)一般社団法人繊維学会秋季研究発表会

懇親会：9月5日(木) 18時30分より、オ・バルキーニョにて開催予定です(<http://www.barqui.com/>)。

会場は大学から歩いて10分ほどです。

参加登録料：

|      | 繊維学会 正会員<br>維持・賛助会員<br>協賛学・協会員 | 非会員     | 繊維学会<br>協賛学・協会<br>学生会員 | 学生非会員  |
|------|--------------------------------|---------|------------------------|--------|
| 事前登録 | 8,000円                         | 15,000円 | 3,000円                 | 6,000円 |
| 当日登録 | 10,000円                        | 18,000円 | 5,000円                 | 8,000円 |

懇親会費：

|      | 繊維学会 正会員<br>維持・賛助会員<br>協賛学・協会員 | 非会員    | 繊維学会<br>協賛学・協会<br>学生会員 | 学生非会員  |
|------|--------------------------------|--------|------------------------|--------|
| 事前登録 | 7,000円                         | 7,000円 | 3,000円                 | 3,000円 |
| 当日登録 | 8,000円                         | 8,000円 | 4,000円                 | 4,000円 |

- (注) 1. 参加登録料には、学会予稿集1冊が含まれます。  
2. 予稿集の事前送付はいたしませんので御了承ください。  
3. 懇親会のみに参加される方は、懇親会費のみを御送金ください。  
4. 研究発表会、ポスター発表および懇親会への参加は、全員事前登録を原則とします。  
5. 事前登録締切後は、すべて当日登録となりますので、ご注意ください。当日登録は会場の受付に直接お越しください。

お問い合わせ先：本研究発表会に関して、ご不明な点がございましたら次のアドレスまでメールでお問い合わせください。

(豊田工業大学 田代孝二：ktashiro\$toyota-ti.ac.jp) (連絡する時は\$を@にかえてください)

その他：不測の事態が生じた場合は、WEB上で告知することをご承知おきください。

ご不明の点は、学会事務局(TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 メール:office@fiber.or.jp)にお問い合わせください。

## ■ 重要な締切日時

- 申し込み期限：発表申込締切：2013年6月30日(日)  
原稿送付期限：要旨原稿送付締切：2013年8月4日(日)  
参加登録期限：事前参加登録申込締切：2013年8月4日(日)

## ■ 平成25年度繊維学会秋季研究発表会実行委員会

実行委員長：田代孝二(豊田工大)

副実行委員長：澤渡千枝(静岡大)、田坂 茂(静岡大)、土田 亮(岐阜大)

実行委員：青山忠幸(東邦テナックス)、浅田光則(クラレ)、猪股克弘(名工大)、太田幸一(あいち産科研三河センター)、岡本正巳(豊田工大)、奥村和之(岐阜産技センター)、木村 浩(岐阜大)、高橋朋子(旭化成せんい)、武野明義(岐阜大)、田原大輔(豊田工大)、仲井朝美(岐阜大)、長坂俊夫(三菱レイヨン)、永田謙二(名工大)、野々村弘人(繊維学会事務局)、長谷寛之(ポリプラスチック)、増田智恵(三重大)、松田靖弘(静岡大)、村瀬浩貴(東洋紡)、山元博子(豊田工大)、吉岡太陽(豊田工大)、吉水広明(名工大)

## 第41回関西繊維セミナー 「京のものづくり 伝統と先進」

主催：(一社)繊維学会関西支部

協賛(予定)：京都市産業技術研究所、京都工芸繊維大学繊維科学センター、セルロース学会、他

日時：平成25年7月3日(水) 13:00~16:00

場所：京都市産業技術研究所(〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町91)

(アクセス JR嵯峨野線 丹波口駅 西へ徒歩約8分)

プログラム：

13:00~13:05 開会挨拶

13:05~13:25 京都市産業技術研究所から

所長 西本清一氏

13:25~14:05 電子写真方式デジタルプリントシステムの開発

研究部長 早水 督氏

14:05~14:45 セルロースナノファイバーの製造と高植物度ナノコンポジットの開発

研究戦略部長 北川和男氏

15:00~(約1時間) 研究所見学

参加費：会員(大学官公庁関係、企業関係)：3,000円 学生：1,000円、会員外：5,000円

振込先：京都銀行下鴨支店(142) 普通預金口座 920965

加入者名：繊維学会関西支部(センイガツカイカンサイシブ)

申込方法：氏名・所属、連絡先(所在地、TEL、FAX、E-mail)を明記の上、下記申込先にFAX、E-mail又はハガキにてお申し込みください。

申込先：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 バイオベースマテリアル学専攻

浦川研究室内 繊維学会関西支部 第41回関西繊維セミナー係宛

TEL:075-724-7567 FAX:075-724-7564 E-mail:kansai@chem.kit.ac.jp

---

## 繊維学会 第172回被服科学研究委員会

第172回の研究会は、K-LABOの鎌田佳伸氏をお招きして、「布の保温性に関わる繊維の効用」をテーマに、下記の通りおこないますので、参加くださいますようご案内いたします。

会員以外の方にも、積極的に参加を呼びかけていただければ幸いに思います(参加費無料)。

日時：平成25年7月22日(月) 16:00~17:40

場所：実践女子学園生涯学習センター 5階、503番教室

〒191-0061 東京都日野市大坂上1-33-1 TEL:042-589-1212 <http://www.syogai.jissen.ac.jp/>

講演：「布の保温性に関わる繊維の効用」

K-LABO 鎌田佳伸氏(元実践女子大学教授)

会費：3,000円

尚、委員会終了後、参加者の交流会(18:00~20:00)を予定しています。

場所：麒麟坊(中国家庭料理：JR日野駅徒歩2分) TEL:042-587-8469 東京都日野市日野本町4-5-5

\*交流会参加の有無も含めて、7月10日までに下記へお申し込みください。

申込&連絡先：実践女子大学 城島栄一郎 〒191-8510 東京都日野市大坂上4-1-1

TEL&FAX:042-585-8897 E-mail:jojima-eiichiro@jissen.ac.jp

## 関西支部「関西繊維科学研究奨励賞」

繊維学会関西支部では、若手研究者の皆さんの研究活動を支援すべく、「関西繊維科学研究奨励賞」を設けています。

### 平成 24 年度受賞者の決定

平成 25 年 1 月 28 日の支部役員会にて、下記の 2 名の方々の受賞を決定しました。なお、授与式ならびに受賞講演は、本年度秋開催の関西支部主催の関西繊維科学講座にて執り行う予定です。

◎山崎慎一 氏(岡山大学大学院 環境生命科学研究科 資源循環学専攻)

研究タイトル：「環状高分子を構成要素とするトポロジカルブレンド高分子の結晶化制御を鍵とした高性能繊維材料の開発」

◎井上倫太郎 氏(京都大学 化学研究所)

研究タイトル：「中性子反射率による高分子薄膜のガラス転移温度の分布に関する研究」

### 平成 25 年度応募受付中

他薦、自薦を問いません。下記条件に合った方々からの多くの応募をお待ちしています。

#### 1. 応募に必要な条件(下の二つの条件を同時に満たすこと)

- (1) 繊維学会関西支部に属する 45 歳以下の研究者であること
- (2) その年を含めた過去 3 年以内に繊維学会誌に論文を掲載された者あるいは繊維学会において研究発表を行った者

#### 2. 応募要領

- (1) 必要事項を A4 要旨 2~3 枚にまとめ、pdf-file の形で繊維学会関西支部事務局まで電子メールにて送ること。

関西支部事務局メールアドレス [kansai@chem.kit.ac.jp](mailto:kansai@chem.kit.ac.jp)

- (2) 記入事項としては、(a)氏名、生年月日、所属、身分、住所、(b)研究タイトル、(c)研究の動機、(d)関係分野におけるその研究の位置づけ、新しさおよび独創性、(e)研究の成果および波及効果、(f)発表論文および関連資料、(g)推薦者の言葉(自薦の場合も)、(h)希望する審査分野(「繊維物理・繊維化学」、「繊維製造・加工・染色」、「繊維消費・感性評価その他」、「その他」の 4 つから選択)、を含むこと。書式は問わない。必要であれば図表などを含めてもよい。

なお、応募する際の研究内容に関しては、繊維学会誌掲載論文あるいは繊維学会での発表内容とは必ずしも同一の研究内容であることは必要としない。

- (3) 締め切り：平成 25 年 7 月末日

#### 3. 審査方法

- (1) 支部長、副支部長(2 名)が、応募資料に基づき、慎重な議論を経て最終的に受賞者を決定する。
- (2) 審査結果は受賞決定者に通知するとともに、ホームページおよび繊維学会誌を通じて公表する。

#### 4. 受賞者の義務

受賞者は関西繊維科学講座あるいは関西繊維科学セミナーにて賞状および賞金(あるいは賞品)を受け取るとともに、自身の研究内容について講演することが義務づけられる。

関西支部事務局  
メールアドレス [kansai@chem.kit.ac.jp](mailto:kansai@chem.kit.ac.jp)

# 超臨界流体に関する国際ミニシンポジウム 2013

**主 催：**繊維学会超臨界流体研究委員会

**協 賛：**繊維学会染色研究委員会、化学工学会超臨界流体部会

超臨界流体染色をはじめ繊維・高分子関連分野での超臨界流体技術の応用が活発に研究されています。この分野を中心に世界の研究開発について議論するためにそれぞれの分野での第一人者の講演と最先端の研究発表を兼ね、ミニシンポジウムを開催します。ふるってご参加ください。

**日 時：**平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会期間(平成 25 年 9 月 5 日(木) 6 日(金))

1 日目：招待講演および懇親会 2 日目：ポスター発表(10~20 件予定)

**講 師：**

- 1) 9:30~10:20 Industrialization of Supercritical carbon dioxide dyeing technology on Wool fiber  
Prof. Zheng Laijiu, Dalian Polytechnic University, China
- 2) 10:20~11:10 Fabrication of Hollow Fiber by Electrospinning under Pressurized Carbon Dioxide  
Prof. Motonobu Goto, Nagoya University, Japan
- 3) 11:10~12:00 Integration of Supercritical Fluid Technologies : Chemical Reaction and Particle Formation  
Prof. Youn-Woo Lee , Seoul National University, Korea

昼 食

13:00~14:00 繊維学会特別講演

- 4) 14:30~15:20 Impregnation Technique for Textile Modification Using Supercritical CO<sub>2</sub> Fluid.  
Prof. Satoko Okubayashi, Kyoto Institute of Technology, Japan
- 5) 15:20~16:10 Carbon Dioxide Processing for Polymerization and Nanocomposite Formation  
Prof. Aryn S Teja, Georgia Institute of Technology, USA
- 6) 16:10~17:00 Material processing using supercritical CO<sub>2</sub>  
Prof. Idzumi Okajima, Eduard Lack, Shizuoka University, Japan

**場 所：**豊田工業大学(平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会会場)

〒468-8511 名古屋市天白区久方二丁目 12 番地 1 TEL : 052-802-1111

**参加費：**

|                  | 事前登録(8月31日まで) | 当日登録     |
|------------------|---------------|----------|
| 繊維学会超臨界流体研究委員会会員 | 15,000 円      | 20,000 円 |
| 上記以外的一般          | 20,000 円      | 25,000 円 |
| 学生*              | 5,000 円       | 7,000 円  |
| 懇親会費             | 5,000 円       | 7,000 円  |

\*平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会申込者は無料

銀行振込：福井銀行文京支店 普通預金口座 1135037

(加入者名)繊維学会超臨界流体研究会

**申し込み：**発表申し込みおよびお問い合わせは下記宛にメールでお願いします。

奥林里子 okubay@kit.ac.jp

**申し込み締め切り：**平成 25 年 8 月 26 日(月)

**振り込み締め切り：**平成 25 年 8 月 31 日(土)

**実行委員会：**

委員長：奥林里子(京都工芸繊維大学)

委員：濱田州博(信州大学)、阿尻雅文(東北大学)、堀 照夫(福井大学)、後藤元信(名古屋大学)、杉浦和明(京都市産業技術研究所)、斉藤拓(東京農工大学)、廣垣和正(福井大学)

## JTCCの「繊維産業資材の基礎と応用 (大阪会場・名古屋会場)」講座

### 1)大阪会場

日 時：平成 25 年 8 月 31 日(土)、9 月 7 日(土)  
場 所：大阪産業創造館(地下鉄 堺筋本町駅 徒歩 5 分)  
問合せ先：日本繊維技術士センター(JTCC)  
TEL: 06-6339-1237 FAX: 06-6339-0337

### 2)名古屋会場

日 時：平成 25 年 10 月 5 日(土)、10 月 12 日(土)  
場 所：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)  
問合せ先：日本繊維技術士センター(JTCC)東海支部  
岩上 厚 TEL: 052-835-6720  
E-mail atsuiwa@wa2.so-net.ne.jp

問合せ先：日本レオロジー学会事務局  
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 93  
京都リサーチパーク 6 号館 3F  
TEL: 075-315-8687 E-mail: office@srj.or.jp

## マテリアルライフ学会「第24回研究発表会」

主 催：マテリアルライフ学会  
日 時：平成 25 年 7 月 5 日(金)、6 日(土)  
場 所：京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60 周年記念館  
問合せ先：マテリアルライフ学会  
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-6-8  
TEL: 03-5695-6544 E-mail: mls@kt.rim.or.jp

## 第 15 回日本感性工学会大会 — しなやかな感性 —

主 催：日本感性工学会  
日 時：平成 25 年 9 月 5 日(木)~7 日(土)  
場 所：東京女子大学  
プログラム：  
9 月 5 日(木) 総会・特別講演・研究発表等  
9 月 6 日(金) 特別講演・研究発表・懇親会等  
9 月 7 日(土) 特別講演・研究発表等  
問合せ先：〒103-0007 東京都中央区浜町 2-55-5  
グランドハイツ 1003  
日本感性工学 事務局 上野  
TEL: 03-3666-8000 E-mail: jske@jske.org

## 第 37 回静電気学会全国大会

主 催：静電気学会  
日 時：平成 25 年 9 月 10 日(火)、11 日(水)  
場 所：千葉大学教育学部 講義棟(2 号館)2 階  
(千葉市稲毛区弥生町 1-33)  
プログラム：特別講演、一般講演、臨時総会  
問合せ先：静電気学会事務局  
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-3  
シャルム 80 4F  
TEL: 03-3815-4171 E-mail: iesj@iesj.org

## 元素ブロック第 2 回公開シンポジウム 文部科学省 科学研究費 新学術領域研究 — 元素ブロック高分子材料の創出 —

主 催：領域総括班  
日 時：7 月 5 日(金) 10:30~17:40(10:00 受付開始)  
場 所：東京工業大学大岡山キャンパス東工大蔵前会館  
詳しくは、HP をご覧ください。  
<http://element-block.org>  
問合せ先：〒739-8527 東広島市鏡山 1-4-1  
広島大学大学院工学研究院「元素ブロック高分子材料の創出」領域事務局  
E-mail: office@element-block.org

## 第 26 回におい・かおり環境学会

主 催：公益社団法人 におい・かおり環境協会  
日 時：平成 25 年 8 月 21 日(水)~22 日(木)  
場 所：文京学院大学 本郷キャンパス 仁愛ホール  
(東京都文京区向丘 1-19-1)  
プログラム：特別講演、一般口頭発表、ポスター発表、企画セッション  
機器展示(ランチョセミナー開催予定)  
問合せ先：公益社団法人 におい・かおり環境協会(石井、中辻)  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-2-18  
西新宿浅井ビル 3 階  
TEL: 03-5309-2422 E-mail: info@orea.or.jp

## 第 61 回レオロジー討論会

主 催：日本レオロジー学会、日本バイオレオロジー学会  
日 時：平成 25 年 9 月 25 日(水)~27 日(金)  
場 所：山形大学 工学部

## プラスチック成型加工学会 第 136 回 講演会

### — 防塵防水シールの基礎からトレンド・最新技術 —

主 催：一般社団法人 プラスチック成形加工学会  
日 時：平成 25 年 8 月 6 日(火)

場 所：東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール  
東京都目黒区大岡山 2-12-1 TEL:03-5734-3737

プログラム：

防水、防塵性能評価を含む信頼性評価技術全般と最近の事例紹介 中村隆治(OKI エンジニアリング)  
高分子材料を使用した静的・動的シールの基本的な考え方と製品事例紹介 永田裕賢(NOK)  
金属と樹脂を型内で接合する成形技術

小林伊知郎(トーノ精密)

熱可塑性樹脂二材とシリコンの三材成形法

三宅和彦(セントラルファインツール)

金属と樹脂の射出成型接合での、防塵・防水・気密  
成富正徳(大成プラス)

異種材料の直接接着技術・接着機構と応用例

六田充輝(ダイセル・エポニック)

問合せ先：一般社団法人 プラスチック成型加工学会 事務局 東京都品川区大崎 5-8-5  
グリーンプラザ五反田第 2 205  
TEL:03-5436-3822

## 第 49 回 X 線分析討論会および 第 15 回全反射蛍光 X 線分析法 (TXRF2013)国際会議合同会議

主 催：日本分析化学会 X 線分析研究懇談会  
日 時：平成 25 年 9 月 23 日(月)～27 日(金)  
場 所：大阪市立大学(杉本キャンパス)学術情報総合センター(大阪市住吉区杉本 3-3-138)  
詳細は下記のホームページをご参照ください。  
・ X 線分析討論会のホームページ  
<http://www.a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp/x49/>  
・ TXRF2013 のホームページ  
<http://www.a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp/txrf2013/>  
問合せ先：辻 幸一、大阪市立大学大学院工学研究科化学  
生物系専攻  
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138  
TEL/FAX:06-6605-3080  
E-mail:tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp

## 第 18 回高分子分析討論会

主 催：日本分析化学高分子分析研究懇談会  
日 時：平成 25 年 9 月 19 日(木)、20 日(金)  
場 所：明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン  
(東京都千代田区神田駿河台 1-1)  
内 容：高分子の分析及びキャラクタリゼーションを対象とした討論会

連絡先：(公社)日本分析化学会 高分子分析研究懇談会  
〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2  
五反田サンハイツ 304 号  
TEL:03-3490-3351  
E-mail:Kondankai-hp@jsac.or.jp

## 平成 26 年度 東京家政大学専任教員公募要領

1. 職名・人数 教授、准教授または講師(条件によっては期限付)1 名
2. 所 属 家政学部服飾美術学科
3. 専門分野 被服材料学
4. 担当科目 被服材料学、被服材料学実験、繊維製品の評価、及びその周辺の科目  
計 12 時間(6 コマ)以上
5. 採用予定時期 平成 26 年 4 月 1 日
6. 応募資格 (1) 修士以上の学位を有するか、それと同等の能力を有する者  
(2) 衣料管理士課程の教育に意欲のある者  
(3) 被服材料学の分野、特に材料物性の分野に詳しい人が望ましい
7. 提出書類 (1) 履歴書(本学所定のもの、写真添付)  
(2) 教育研究業績一覧(本学所定のもの、主要論文 5 編の番号を○で囲み、別刷り(コピー可)1 部を添付すること)  
(3) 着任後の教育・研究に対する抱負(A4 版 2000 字以内)  
(4) 担当主要科目(1 科目)の授業計画
8. 選考方法 (1) 書類審査  
(2) 面接および模擬授業  
(3) 本学教員採用委員会で審査の上、教員選考委員会の議を経て教授会で決定
9. 書類提出期限 平成 25 年 7 月 5 日(金)必着
10. 提出用書式請求・書類提出先  
〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1  
東京家政大学教育・学生支援センター  
服飾美術学科事務担当宛  
TEL:03-3961-2240  
E-mail:sioda@tokyo-kasei.ac.jp
11. その他 応募書類は原則として返却いたしません  
が、返却を希望される場合は、その旨を明記し、切手を貼った返却用封筒を同封してください。  
給与等は本学の給与規定によります。

# 繊維学会入会申込書 (正、学生会員用) Fax: 03-3441-3260

|                 |   |    |           |       |  |
|-----------------|---|----|-----------|-------|--|
| 会員番号            |   |    | 会員種別      | 正会員   | 学生会員   |
|                 |   |    | 入会申込      | 西暦20  | 年 月 日  |
| Alphabet        |   | 性別 | 生年月日      | 西暦    | 年 月 日  |
| 氏名              | <input type="checkbox"/> 男<br><input type="checkbox"/> 女  |    | 紹介者       |       |  |
|                 |   |    |           |       |  |
| 勤務先<br>・<br>在学先 | 社名・校名   |    | 部課名・学部学科名 |       |  |
|                 | ふりがな  |    |           |       |  |
|                 | 所在地   |    |           |       |  |
|                 | Tel   |    | Fax       |       |  |
|                 | E-mail  |    |           |       |  |
| 自宅              | ふりがな  |    |           |       | 送本先  |
|                 | 住所  |    |           |       | <input type="checkbox"/> 勤務先<br><input type="checkbox"/> 自宅                                |
|                 | Tel   |    | Fax       |       |  |
|                 | E-mail  |    |           |       |  |
| 最終学歴            | 学校名   |    |           | 取得学位  | <input type="checkbox"/> 学士 <input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士<br>その他 |
|                 | 学部・研究科名   |    |           |       |  |
|                 | 卒業・修了<br>(予定含む)   | 西暦 | 年         | 月(予定) | 取得資格   |
| 会費の自動引落(正会員に限る) | <input type="checkbox"/> 希望する(正会員の個人口座に限る) <input type="checkbox"/> 希望しない   |    |           |       |  |
| 専門分野            | <input type="checkbox"/> 繊維・フィルムの物理 <input type="checkbox"/> 高強度・高弾性率材料 <input type="checkbox"/> 繊維・高分子の化学(合成と性質) <input type="checkbox"/> ナノファイバー <input type="checkbox"/> 分析機器による構造評価 <input type="checkbox"/> 複合材料 <input type="checkbox"/> ゲル <input type="checkbox"/> 接着・界面・コロイドの科学 <input type="checkbox"/> 紙・パルプ <input type="checkbox"/> 環境対応素材 <input type="checkbox"/> 染料・染色・仕上加工 <input type="checkbox"/> 紡織・繊維機械 <input type="checkbox"/> テキスタイルサイエンス(CADを含む) <input type="checkbox"/> ジオテキスタイル <input type="checkbox"/> 縫製科学・被服機能 <input type="checkbox"/> 消費科学 <input type="checkbox"/> その他 |    |           |       |  |
| 所属学協会           | <input type="checkbox"/> 日本化学会 <input type="checkbox"/> 化学工学会 <input type="checkbox"/> 日本家政学会 <input type="checkbox"/> 日本感性工学会 <input type="checkbox"/> 日本繊維機械学会<br><input type="checkbox"/> 高分子学会 <input type="checkbox"/> 日本繊維製品消費科学会 <input type="checkbox"/> その他 ( )  |    |           |       |  |

- 本申込書は会員原簿として保存します。判読できるよう太線枠内を明瞭にご記入ください。会員種別の欄はどれか一方を消してください。また、該当部分の□にチェック記号を記してください。
  - 正会員には紹介会員を必要としません。学生会員はできるだけ在学教官をご紹介会員としてください。
  - この申込書は、郵便またはファックスにてお送りください。なお、電子メール添付用の入会書式は繊維学会のホームページの会員増強委員会からダウンロードしてお使いください。
  - 会費(正会員 7,800円、学生会員 3,600円、入会金は不要)は別送で結構です。送金には、郵便振替、郵便小為替または現金書留をご利用ください。自動引落し希望の方には用紙をお送り致します。  
 送り先: 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208 (一般社団法人)繊維学会 振替口座 00140-8-82890  
 Tel: 03-3441-5627 Fax: 03-3441-3260 E-mail: office@fiber.or.jp
- ※ 会員の個人情報は(一般社団法人)繊維学会が責任をもって管理し、目的以外には使用致しません。